

ono800まちなか再生区域まちなか再生評価書

1 まちなか再生区域の概要

名称	ono800まちなか再生区域
指定年月日	平成31年4月17日
区域面積	約27ha

2 まちなか再生協議会の概要

名称	ono800まちなか再生協議会
設立年月日	平成31年4月25日
団体構成	7ヶ町連合区長会、一般社団法人播州まちづくり協議会、民間建築事務所、小野市商工会議所

3 まちなか再生計画の概要



名称	ono800プラン（まちなか再生計画）
策定年月日	令和3年3月
目標	年を重ねても（医・食・住・学）の観点から、まちの主人公である一人一人が安心して快適に過ごせる街 ⇒「定住人口の増加」、「交流人口の増加」及び「にぎわいの創出」の3つを土台に元氣な街の形成を図る。
活動方針	①小野のコンテンツを活用した新たな価値・物語づくり ②ono800区域での新しい時間の過ごし方の提供 ③空き空間や低未利用地等を活用したつながりづくり ④若年世代と高齢世代の融合・交流拠点の整備 ⑤教えあい学びあえる「みんなの学校」の開講



4 活用したまちなか再生事業等

事業名称	①まちなか再生アドバイザー派遣事業	②まちなか再生協議会等運営支援事業																
認定年月日	-	-																
事業期間	平成29年度～令和3年度	令和元年度～令和5年度																
概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>派遣回数</th> <th>年度</th> <th>派遣回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年</td> <td>2回</td> <td>令和2年</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>8回</td> <td>令和3年</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>令和元年</td> <td>13回</td> <td>計</td> <td>46回</td> </tr> </tbody> </table> <p>まちなか再生計画策定 広報誌の作成 遊休不動産活用した拠点づくり ・空き店舗調査 ・空き店舗所有者ヒアリング 拠点整備ゾーンの施設整備 ・公園（サンパークおの）の暫定活用等</p>		年度	派遣回数	年度	派遣回数	平成29年	2回	令和2年	11回	平成30年	8回	令和3年	12回	令和元年	13回	計	46回
年度	派遣回数	年度	派遣回数															
平成29年	2回	令和2年	11回															
平成30年	8回	令和3年	12回															
令和元年	13回	計	46回															
事業費（県・市補助額）	2,300千円（派遣回数46回）																	

5 5年間で実施した主要な活動

事業内容		写真	
遊休不動産を活用した拠点づくり	<p>目的： 区域内の遊休不動産の減少、まちのプレイヤー（事業者又は居住者）の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊休不動産を活用したレンタルオフィス・レンタルスペースの開業 ・遊休不動産の運営組織の設立 <p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの資源（空き建物）を調査し、活用したい遊休不動産所有者へのヒアリングを実施するとともに、データベース構築に向けた手法を検討 ・遊休不動産を活用したレンタルオフィス・レンタルスペースの開業 ・整備したレンタルオフィス・レンタルスペースを活用した社会実験（セミナー等の開催） 		
事業費	321千円		
事業期間	令和元年度 ～令和5年度	課題：	
拠点整備ゾーンの施設整備（公園（サンパークおの）の暫定活用等）	<p>目的： 区域を訪れる交流人口の増加</p> <p>区域の中心部にある愛宕神社周辺を拠点整備ゾーンとして位置付け、施設整備（サンパークの再整備、他世代交流施設の設置）等の具現化に向けた検討を実施</p> <p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンパークの暫定活用（社会実験）、アンケートの実施 ・駐車場等未利用地の暫定活用（キッチンカー、野菜販売等） ・拠点整備ゾーンの施設整備手法の策定 ・5年間の取組の成果を広報誌にて発表（全市内発行） 		
事業費	1,145千円	課題：	
事業期間	令和3年度 ～令和5年度		



空き店舗調査



先進地視察

氏名	住所	電話番号	性別	年齢
氏名				
住所				
電話番号				
性別				
年齢				
空き家/空き店舗の状況				
用途				
備考				

所有者アンケート



整備イメージ図
(サンパークおのの)

6 まちなか再生協会によるまちなか再生事業における自己評価

公園・未利用地の暫定利用などの社会実験等において、商業者だけでなく、地元高校生などの若い世代を巻き込んだ取組を展開できたことは大きな意味があると考えている。

遊休不動産を活用した拠点づくりについては、ono800まちなか再生協会として活動してきたノウハウを後継団体に引き継ぐことができた。

拠点整備ゾーン内での多世代交流施設の整備については、賃料・使用料が相場程度であれば利用が見込めることが分かったが、土地所有者等が期待する水準には遠く及ばないことも明らかとなった。補助金など、イニシャルコストを低減させる仕組みがない中での施設整備の在り方、今後の進め方については検討が必要だと考える。

一過性でない継続的な取組を進めるためには組織の裾野を大きく広げ、より多くのプレイヤーを確保・育成していくことが重要だと感じた。

<参考：まちなか再生協会等運営支援事業 補助対象経費（単位：千円）>

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	計
まちなか再生計画策定費	275	370				645
事業推進費				446	440	886
広報紙作成費	176	182	119	55	246	778
会議開催費	69	11	32	53	43	208
先進地視察費	60				10	70
社会実験・実証実験費			246	13	261	520
計	580	563	397	567	1,000	3,107